

平成29年度事業報告

社会福祉法人大阪市福島区社会福祉協議会

平成29年度 福島区社会福祉協議会 事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

近年、福島区の人口は高層マンション等の建設により、増加傾向にあり、高齢者を含む一人世帯の増加、介護や子育ての問題、児童・高齢者・障がい者等の虐待問題、子どもの貧困や生活困窮をめぐる生活問題、特殊詐欺被害を含む消費者問題等、近隣や地域との関係の希薄化も含め、地域における福祉課題が多様化・重複化しているのが現状である。

このような状況のなか本会において、平成29年10月より、高齢者の生活支援ニーズに対応した支援体制を整備することを目的とした「生活支援体制整備事業」を大阪市より受託、同年11月に生活支援コーディネーターが配置された。また、高齢者の介護予防に資する独自事業として、運動プログラムに特化した「介護予防運動クラブ」をモデル実施した。

地域支援担当では、コミュニティサロンの立ち上げ・運営を支援する他、「コミュニティサロンフォーラム」を開催した。また、新たな取り組みとして、区社協災害訓練を地域の防災訓練と連携して実施した。

見守り相談室では、福島区内にて、北ブロック(北・都島・福島・淀川・東淀川の5区)の見守り相談室合同で、「北ブロック見守りサミット～知りたい、伝えたい、地域の見守り活動～」を開催し、活動者の情報交換等を行い、日頃からの見守り活動や地域住民のつながり、地域の社会資源のネットワークの強化の大切さを地域で共有できるよう支援を行った。

包括支援担当では、認知症初期集中支援チームを置く「認知症強化型地域包括支援センター」として認知症高齢者を支援するネットワークの充実に取り組んだ。

きらめきセンター(老人福祉センター)では、介護予防ポイント事業の普及・啓発を図るため、事業説明や施設見学会等を市社協地域福祉課と共催した。

子ども・子育てプラザでは、今年度より7月21日～8月31日の月・祝日も開館し(休館日なし)、児童等の利用促進に取り組んだ。

区社協事務局では、地域担当制を再構築し、全地域の町会長会議に出席し、地域の諸活動等の状況把握や情報提供等に取り組んだ。

1. 会 議

平成29年	5月12日	監事による会計監査
	5月19日	ボランティア・市民活動センター運営委員会
	5月29日	善意銀行運営委員会
	5月29日	理事会
	6月29日	評議員会
	6月29日	ボランティア・市民活動センター運営委員会
	6月29日	理事会
	6月29日	地区・校下社協会長会
	6月29日	地域ネットワーク委員長会
	10月10日	福祉基金(植本基金、小林基金)運営委員会
	10月30日	地区・校下社協会長会
	10月30日	地域ネットワーク委員長会
	12月25日	地区・校下社協会長会
	12月25日	地域ネットワーク委員長会
平成30年	3月23日	ボランティア・市民活動センター運営委員会
	3月27日	理事会
	3月27日	地区・校下社協会長会
	3月27日	地域ネットワーク委員長会
	3月28日	評議員会

2. 事業概要

(1)会員の募集

①基本会員(役員・組織構成会員): 81人

②賛助会員(個人):304人 ・(団体): 29団体

(2) 地域福祉活動推進支援

① 地区・校下社協活動等への支援

地域の高齢者や障がい者、児童など誰もが地域で安心して生活できるよう地域住民の参加と協力による支えあい、助けあい活動を小地域で実施する事業推進のための支援。

ア 地区・校下社協会長会の開催(全4回)

イ 地域ネットワーク委員長会の開催(全4回)

ウ 子育てサロン連絡会の実施(1回)

エ コミュニティサロン連絡会の開催(全6回)

オ 地域福祉コーディネーター連絡会の参画(全12回)

カ キャラバン・メイト連絡会の開催(全4回)

キ 福島区コミュニティサロンフォーラムの開催

開催日：平成30年2月19日(月)

内容：Ⅰ部 講演「みんなが参加できる社会を目指して
～誰もがつどえる居場所づくり～」

講師 桃山学院大学教授 石田 易司氏

Ⅱ部 事例紹介(区内3つのサロン)

参加人数：200名

ク 小地域福祉活動リーダー研修会(福島区区民講座)

開催日：平成30年1月17日(水)

内容：気になる「もの忘れ」「認知症」のこと学びませんか？

講師：大阪市立弘済院附属病院

神経内科部長 金田 大太 氏

ケ 地域福祉活動カレンダーの作製 4,000部

コ 地域子育て応援マップの作製 5,000部

サ 子育て情報紙「フッピーキッズ」31号、32号、33号の発行支援

②地域福祉推進への参画・推進

- ア 地域福祉ビジョン策定委員会への参画(全3回)
- イ あいあい音楽カフェの開催(全11回)
- ウ 地域福祉講演会の参画(1回)

③地域支援システムの推進・参画

- ア 高齢者支援部会の開催(全4回)
- イ 高齢者虐待防止連絡会議の参画(1回)
- ウ 自立支援協議会の参画(4回)
- エ 子育て支援連絡会の参画(2回)

(3)福島区社会福祉施設連絡会の運営

①連絡会の開催(全3回)

②福祉イベント『第16回あいあいまつり』(福島区民センター)への参加

開催日 : 平成30年2月10日(土)

内 容 : 施設紹介コーナーの設置

[ステージ] 福島区に関する〇×クイズ

③社会福祉施設連絡会職員向け研修会の実施

開催日 : 平成29年7月21日

内 容 : 『発達障がいの理解と支援』

講 師 : 和歌山信愛女子短期大学 西原 弘 先生

開催日 : 平成29年11月10日

内 容 : 『災害時の対応 ビニール袋を使っでの炊き出し』

講 師 : 日本赤十字社 大阪府支部

④地域貢献

- ア 保育所(園)の保育士が地域の「子育てサロン」で歌あそび、手あそび、体操等を実施。(全6回)
- イ 高齢者施設の職員が中学校での福祉教育で車椅子体験、高齢者疑似体験を協力。(1回)

(4)地域における要援護者の見守り支援ネットワーク強化事業

平成27年4月より「見守り相談室」をあいあいセンターに設置。地域と行政が要援護者の情報を共有することで、孤立死の予防や災害時の避難支援、また認知症高齢者等の行方不明時の早期発見を図る。

機能①要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備

同意書を対象者に郵送または調査員の訪問により同意確認を行なった。

- 対 象 : ① 65歳以上高齢者で要介護3以上の方または要介護2以下で日常生活自立度Ⅱ以上の方、区要援護者名簿登録者
- ② 身体障がい1・2級、視覚・聴覚障がい3・4級、音声・言語機能障がい3・4級、肢体不自由3級知的障がいA、精神障がい1級
- ③ 難病患者(医療機器などへの依存度の高い人)

ア 同意確認書の郵送(再発送含む)

第1回目	7月29日	777人
第2回目	2月8日	557人
合計		1,334人

イ 返信 699人 (返信率50.1%)

同 意: 505人 不同意: 194人

ウ 訪問 385人 (回答率 20.0%)

同 意: 61人 不同意: 15人

エ 地域へ要援護者名簿の提供 平成29年11月10日発行

提供先:各地域の地域振興会、地区・校下社会福祉協議会
民生委員児童委員協議会、地域女性団体協議会
オ 「北ブロック見守りサミット」～知りたい、伝えたい、地域の見守り活動～
北ブロック(北・都島・福島・淀川・東淀川の5区)見守り相談室合同で各
区の見守り活動者の情報交換会を開催。

日 時: 11月22日(木)午後2時～4時

場 所: ロイヤルシティホール野田

参加者数: 58人

カ 冊子の発行

- ・見守り活動ノート
- ・北ブロック見守りサミット(開催報告と各地域の見守り活動紹介)

機能②孤立世帯への専門的対応

ア 相談実人員 320人

男性 : 143人 女性 : 173人 不明 :5人

イ ひきこもり親の会「しまりす会」開催

奇数月第2土曜日 全6回 参加者数 延40人

ウ ペアレントトレーニング講座開催

6月～8月 全5回 参加者数 延35人

エ 発達に課題をもつ子どもの支援者連続勉強会

6月～3月 全7回 参加者数 延101人

オ 地域の福祉活動者研修会「事例からわかる成年後見」開催

日時:11月11日(土) 午後1時30分～3時30分

参加者数:161人

機能③認知症高齢者等の行方不明時の早期発見

ア 発見協力者 民生委員89人 各種団体 61団体

イ 事前登録者 18人(男性:11人 女性:7人)

ウ 行方不明発見依頼 8件 ※いずれも無事に発見保護

エ 見守り協力者連絡会開催

日時:3月8日(木)午後6時～8時

場所：区民センター301号・302号室

参加者数：45人

(5) 広報・啓発活動の推進

① 機関紙「福島区社協あいあいだより」の発行

第71号 タブloid版 4面（平成29年4月発行）

第72号 タブloid版 4面（平成29年8月発行）

第73号 タブloid版 4面（平成29年12月発行）

*新聞折込による各戸配布 各26,000部発行

② 子育て情報誌の発信

ア 子育て情報紙『フッピーキッズ』の発行支援（年3回）

イ 地域子育て応援マップの作成・発行（5,500部）

③ インターネットや回覧等による情報提供

ア 区社協ホームページで区社協事業や福祉・ボランティア活動に関する情報提供

イ 区社協フェイスブックによる情報発信（86回）

ウ あいあいまつり、ボランティア養成講座等のチラシ・ポスターの掲示、回覧

④ その他

ア 福島区コミュニティサロンリーフレットの作成（2,000部）

イ 区社協パンフレットの作成（1,000部・あいあいまつりで配布）

ウ 区社協事業広報うちわの作成（3,000枚・全地域に配布）

エ 区社協広報用クリアファイル作成（3,000枚）

(6) ふれあいイベントの開催

① 第16回 あいあいまつりの開催

区内の社会福祉施設、ボランティア、地域活動協議会などによる日頃の活動紹介・交流や福祉について啓発を行なった。

開催日：平成30年2月10日(土)

開催場所：福島区民センター

参加人数：約1,000人

(7)福島区ボランティア・市民活動センターの運営

①情報の収集・発信(啓発・広報)

福島区社協だより、広報ふくしま、ボランティア活動情報誌『COMVO』等にボランティア・市民活動センターおよび登録グループに関連する記事の掲載を依頼・提供を行なった。

広報ふくしま掲載件数:12件

広報掲載内容:ボランティア講座受講生募集・イベントの周知・ボランティア活動者募集・助成金周知等

②事業企画

障がい児スポーツ・レクリエーションひろば

開催日：平成30年3月26日(月)

開催場所：福島区民センター

参加人数：31人

③ネットワークの構築

ア ボランティア・市民活動団体連絡会(全2回)

イ 福島区コミュニティサロン連絡会(全6回)

ウ 第2回企業・NPO交流会 in Fukushima

開催日：平成29年10月25日(水)

内容：I部 講演「熊本地震から学ぶ」

講師 元熊本市災害ボランティアセンター副所長

宮原 栄志氏

Ⅱ部 演習「企業や団体が災害時にできることとは？」

参加人数 : 15団体20名

エ 福島区コミュニティサロン講座の開催(全4回)

オ 大阪市コミュニティサロン交流会の開催(市内6区32名参加)

④活動への支援

ア 福島区内で活動している福祉に関するボランティアグループ・団体に対して、助成金を交付し活動を支援

○福島区ボランティアグループ助成金の交付(8団体310,000円助成)

○福祉ボランティア活動応援資金の交付(6団体235,000円)

○福祉基金の交付(植本基金8団体400,000円、小林基金2団体100,000円)

イ ボランティアグループへ場所・備品(印刷機、紙折り機、拡大機)等の提供

○会議、練習等活動のための部屋の利用(17団体利用)

○活動に必要な資料等作成のため印刷機等の使用(44団体利用)

ウ ボランティア研修会の開催

エ 助成金勉強会の開催

⑤福祉教育・研修の推進

開催日	内容・場所	参加人数
6月22日	福島小学校 6年生 当事者講話「障がいについて」 車いすの操作説明・車いす体験	31
6月23日	福島小学校 2年生 「発達障がいについて」	51
9月30日	吉野小学校 防災授業 1・2年生 紙芝居「校庭の卒業式」 5年生 語り「希望の木」	183

10月14日	野田中学校 1年生 高齢者疑似体験・車いす体験・アイマスク体験	86
10月28日	玉川小学校 防災授業 2年生 紙芝居「校庭の卒業式」	68
11月18日	さくらタクシー株式会社 乗務員 「車いすの操作方法とタクシーでの車いす乗降講習」	14
12月2日	下福島中学校 1年生 高齢者疑似体験・車いす体験・アイマスク体験	210
1月22日	福島小学校 5年生 「聴覚障がいについて」 当事者講話・手話・体験学習	56
1月23日	海老江東小学校 4年生 「障がいのある方への理解について」 当事者講話・高齢者疑似体験・車いす体験・アイマスク体験	39
1月27日	大開小学校 防災授業 1年生 発達障がいについての出前授業 4年生 語り「希望の木」、「ひさの星」ほか	114
2月16日	八阪中学校 1年生 当事者講話「障がいについて」 車いすの操作方法・視覚障がい者への手引きの方法	128
2月21日	八阪中学校 1年生 高齢者疑似体験・車いす体験・アイマスク体験	128
2月27日	福島小学校 3年生 「目が見えない・見えにくいつてどんな感じ？」 当事者講話・アイマスク体験	45

認知症サポーター養成講座

開催日	対 象	参加人数
4月25日	新家地区見守り活動者	16
5月18日	区内特定郵便局員	11
6月23日	鷺洲地区民生委員児童委員	13
7月5日	㈱阪神住建 管理員	45
7月19日	区内在住・在勤者	10
11月20日	知っ得！健康塾受講者	15
11月24日	区内在住・在勤者	13
12月18日	NPO アロマ・ケア・アソシエイツ	12
3月17日	区内在住・在勤者	5

⑥ ボランティア活動支援(526件)

活動登録・ 需給調整	相談・問合せ 対応	グループ等へ の支援	ボランティア の養成	福祉教育 の推進
299件	98件	66件	36件	27件

⑦ ボランティア活動の紹介

ア 個人・団体登録状況

	平成28年度末	平成29年度末
個人登録者数	63人	53人
団体登録数	55団体	62団体

イ ボランティア活動回数 3,122件

ウ ボランティア活動延人数 13,063人

⑧ ボランティアの養成・育成

養成講座名	開催数	参加者 (延べ)
傾聴ボランティア養成講座	3回	38人
精神保健福祉ボランティア養成講座	5回	93人
災害ボランティア養成講座	3回	22人
福島区コミュニティサロン講座	4回	74人
大阪市コミュニティサロン交流会	1回	32人
福島区コミュニティサロンフォーラム	1回	200人
ボランティア研修会(コンプライアンスについて)	1回	26人
ボランティア勉強会(助成金申請について)	1回	14人

⑨ ボランティア総合保障制度(ボランティア保険)受付業務

個人ボランティアおよび諸団体・グループのボランティア活動を対象にボランティア活動中の予測しえない事故を補償する『ボランティア活動保険』および、行事中の事故に対応する『ボランティア・市民活動行事保険』等への加入を促し、その受付業務を行なった。

ボランティア活動保険	Aプラン	68件	419人
	Bプラン	8件	75人
	Cプラン	8件	220人
ボランティア・市民活動行事保険	A区分	339件	8,207人
	B区分	0件	0人
	C区分	1件	100人
	宿泊:1泊2日	0件	0人
非営利・有償活動団体保険		5件	33人
移送中事故傷害保険		受け付けなし	

⑩ 災害ボランティアセンターに関する業務

ア 災害訓練に向けた区社協職員事前研修(全2回)

イ 訓練に向けた事前協議(2回)

ウ 災害ボランティア養成講座(全3回)

エ MCA無線通信訓練

実施日：平成29年9月1日(金)

オ 第2回企業・NPO交流会 in Fukushima

開催日：平成29年10月25日(水)

内容：I部 講演「熊本地震から学ぶ」

講師 元熊本市災害ボランティアセンター

副所長 宮原 栄志氏

II部 演習「企業や団体が災害時にできることは」

参加人数：15団体20名

カ 区社協災害訓練に伴うえびえ西防災広場の備品等の確認

開催日：平成29年11月11日(土)

内容：海老江西地域防災リーダーによる機材・備品説明、マンホール
トイレの設置

参加人数：4名

キ 区社協災害対策本部・災害ボランティアセンター設置、福祉避難所開設訓練の実施、上福島地域避難所開設訓練の参画

実施日：平成29年11月26日(日)

参加人数：76名

ク 福島区災害訓練へのボランティア派遣・MCA無線機による通信訓練・区職員への区社協災害対策本部・災害ボランティアセンターの説明

実施日：平成30年2月17日(土)

参加人数：職員2名、ボランティア6名

ケ 災害用品の購入(備品及び備蓄用品)

(8)生活困窮者自立相談支援事業

平成27年4月1日から大阪市より受託し、福島区役所3階に、「生活あんしん相談窓口(生活自立支援相談窓口)」を開設。新たに平成28年4月1日から受託し、相談・支援を行い、平成30年度も引き続き受託している。

①新規相談受付件数(本人特定、本人同意なしを含む)・・・182件

(内、本人特定・本人同意ありの「新規相談申込件数」は161件)

ア 新規相談申込件数(性別)

男性:89件 女性:93件 計182件

イ 新規相談申込件数(年代別)

～10歳代 1件

20歳代 12件

30歳代 20件

40歳代 31件

50歳代 43件

60～64歳 13件

65歳代～ 57件

不明 5件

計182件

②主な支援状況

住宅確保給付金	3件
一時生活支援事業	0件
家計相談支援事業	4件
就労準備支援事業	2件
認定就労訓練事業	5件
生活保護受給者等就労自立促進事業	13件
自立相談支援事業による就労支援	40件
生活福祉資金による貸付	2件

(9)生活支援体制整備事業

平成29年10月に本事業を受託。11月より生活支援コーディネーターを配置しニーズや資源の実態を把握して、地域に必要なサービスや資源を創出するよう取組みを開始した。

①ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築

ア 生活支援ニーズ等の把握

各地域福祉コーディネーターへインタビューを行ったほか、関係職員や介護予防運動クラブ、きらめきセンター利用者を対象にアンケートを実施。また、福島区コミュニティサロンフォーラムにてアンケート実施。

イ 協議体の開催(全2回)

開催日：平成29年11月9日(木)、平成30年3月8日(木)

②講座等の開催

ア 大阪市コミュニティサロン交流会

開催日：平成29年11月15日(水)

開催場所：福島区民センター

参加人数：32人

イ 福島区コミュニティサロンフォーラム

開催日：平成30年2月19日(月)

開催場所：福島区民センター

参加人数：約200人

③その他

サービス実施情報の周知にフェイスブックを活用し、活動写真添付・活動紹介を行った。また、生活支援体制整備事業のチラシを作成。区社協HPへの掲載や、地域に出向いてチラシを配付し、事業説明等を実施した。

(10)地域の福祉活動サポート事業及びふくしま暮らし支え合いシステム事業

①地域の福祉活動サポート事業

平成28年度より、各地域のコミュニティセンターや福祉センターに相談窓口「みんなの相談室」を設け、地域事情に詳しい人材を「地域福祉コーディネータ

一」として配置。相談や情報提供、地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業の推進等に取り組んだ。

また、毎月1回事務連絡会を定例開催し、情報交換の他に研修を実施し、資質向上を図った。

ア みんなの相談室 開室日時等

地域名	開設場所	開室日	開室時間
上福島	上福島コミュニティセンター	月・火・水・木・金	9:00～12:00
福島	福島コミュニティセンター	火・水・木	11:00～16:00
玉川	玉川コミュニティセンター	月・木	10:00～16:30
		水	13:00～16:00
野田	野田コミュニティセンター	月・火・木(第1・3・5)	13:00～16:00
		木(第2・4)	9:00～16:00
吉野	吉野コミュニティセンター	月・火・水・木・金	13:00～16:00
新家	新家コミュニティセンター	月・火・木	10:00～16:00
大開	大開福祉センター	月・火・水(第1・3・5)木・金	9:00～12:00
		水(第2・4)	13:00～16:00
鷺洲	鷺洲コミュニティセンター	火・水・木・金	9:30～13:00
		土(第1)	12:00～16:00
海老江東	海老江東コミュニティセンター	月・火・水・木・金	9:00～12:00
海老江西	海老江西 コミュニティセンター	月・木・金	9:00～12:00
		火	9:00～17:00

イ 地域福祉コーディネーター事務連絡会 実施内容

	開催日	主な内容
1	4月7日	○新任職員紹介・情報交換
2	5月12日	○地域福祉コーディネーター活動の現状と課題などから「より良い支援や活動を行うために必要なこと」についての意見交換
3	6月2日	○地域での見守り活動についてグループに分かれての検討・情報交換 ①相手宅を訪問する時に「工夫していること」「留意していること」 ②地域での見守り活動で予想される「課題」について

4	7月7日	研修「知的障がい・精神障がい・発達障がいのある方の 地域生活のしづらさについて」 講師：社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会 福島区障がい者相談支援センター 相談支援専門員 神山 暁良 氏
5	8月4日	○区民まつりの出展内容について
6	9月1日	○第43回福島区民まつりでのPR媒体の内容の検討(第1回)
7	10月6日	○第43回福島区民まつりでのPR媒体の内容の検討(第2回)
8	11月10日	研修報告 生活支援コーディネーター研究協議会 ～地域共生社会の実現に向けたこれからの地域づくり～ (全国社会福祉協議会主催) 報告者：副主幹 河元義和
9	12月1日	グループワーク 「相談者への対応ーコミュニケーションの現状と課題ー」
10	1月5日	研修 「相談の聞き取りと整理方法を知る ～ジェノグラムとエコマップの紹介～」 講師：相談支援センター りんく管理者 中本 勝也氏
11	2月2日	研修 「ジェノグラムとエコマップを用いたケース検討法」 講師：相談支援センター りんく管理者 中本 勝也氏
12	3月2日	研修「福島区の子育て支援」 講師：福島区役所保健福祉課 子育て支援担当課長代理 麦田 真希子氏

ウ 地域福祉コーディネーター研修会運営協力・受講一覧

1	11月11日	地域福祉シンポジウム 事例からわかる成年後見 一身近な困ったことをわかりやすく
2	1月17日	福島区区民講座 「認知症診療の現在と未来」
3	3月21日	地域福祉推進講演会 「住み慣れた場でその人らしく暮らせる地域づくり」

エ 相談・安否確認・見守り把握など

○相談ならびに安否確認を含む件数

訪問・・・ 1,323件

来館・・・ 4,230件

電話・・・ 556件

○見守り・状況把握(地域関係者からの見守り状況報告者数を含む)

延べ 26,751人(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

②ふくしま暮らし支え合いシステム事業

公的サービスの対象とならない軽微なニーズに対して、地域住民の中から、有償ボランティア(サポーター)を募り援助する本事業について、平成28年度より福島区社会福祉協議会が受託し運営を行った。

ア 利用者・サポーター登録数

利用登録者数			サポーター登録者数		
男性	女性	計	男性	女性	計
75人	256人	331人	21人	55人	76人

※平成29年3月末現在と比較して

・利用登録者数は、男性20人増、女性40人増、60人増

・サポーター登録者数は、男性増減なし、女性2人増、計2人増

イ マッチング数

合計1,043件(男性依頼者308件、女性依頼者735件)

ウ サポーター研修・交流会 実施内容

	開催日	主な内容
1	5月30日	「熱中症対策と正しい水分補給について」 講師：株式会社大塚製薬工場 大阪支店 平井 菜摘氏
2	7月28日	「個人情報の保護について」 ～まもって活かす個人情報～ 講師：大阪市市民局 ダイバーシティ推進室 人権企画課担当係長 田中 聡氏
3	9月26日	「有償ボランティアについて」 講師：竹村 安子氏
4	10月 3日	「傾聴の基本を知ろう」 講師：株式会社 エスリード 産業カウンセラー 江熊 遊斗紙
5	10月10日	「認知症の方との関わり方について」 講師：あいあいオレンジチーム 藤井 春日
6	10月17日	「車いすに乗ってみよう 押してみよう」 講師：専門指導員 熊野 道子 延原 栄子
7	2月17日	見学会・交流会 ATCエイジレスセンター めんたいパーク大阪ATC工場見学
8	3月21日	地域福祉推進講演会 「住み慣れた場でその人らしく暮らせる地域づくり」 講師：関西学院大学 人間福祉学部 社会福祉学科 教授 藤井 博志氏

(11)障がい者福祉に関する事業

- ①点字本・点訳絵本の作成と貸出・贈呈
- ②福島区広報ふくしまの朗読テープ作成と貸し出し

(12)地域福祉に関する事業

- ①車椅子貸出事業

区内在住・在勤の方対象に、車椅子の貸し出し(2週間)を実施

保有台数 18台(区社協に保有)

区社協貸出し件数 196件

②スロープ貸出事業

区内在住・在勤の方を対象に、貸し出し(短期間:2週間程度)を実施

保有台数 6台 貸出し件数 0件

③福祉用具貸出事業の実施

高齢者疑似体験セット・アイマスク・車いす・車いす用スロープ

貸出し件数 3件 140人利用

(13)高齢者福祉に関する事業

高齢者敬重訪問

平成29年度中に満100歳を迎える高齢者に、記念品を贈呈し、区社協
会長・区長による訪問を実施

実施日 : 平成29年9月13日(水) 対象者数 : 12人

(14)青少年福祉に関する事業

①青少年関係団体への助成

②『成人の日記念のつどい』への助成(平成30年1月8日)

(15)善意銀行の運営

①ボランティアグループ・団体等への払出し 6件

②歳末助け合い運動に対する払出し 4件

③各種行事等に対する払出し 2件

(16)その他

①日赤会費(社資)事務への協力

②大阪府共同募金会事務への協力

実施期間：平成29年10月1日～平成30年3月31日

内容：街頭募金活動への協力、助成金配分申請・内容の周知

③大阪府生活福祉資金(申込窓口)への協力

ア 緊急小口資金

電話対応・・・95件

面談回数・・・19回

申込み6件(うち、受理5件、不受理1件)

イ 福祉費

電話対応・・・145件

面談回数・・・54回

申込み3件(うち、受理3件、不受理0件)

ウ 総合支援資金

電話対応・・・10件

面談回数・・・5回

申込み0件

エ 教育支援資金

電話対応・・・63件

面談回数・・・37回

申込み5件(うち、受理5件、不受理0件)

オ 臨時特例つなぎ資金

電話対応・・・0件

面談回数・・・0回

申込み0件

カ 不動産担保型生活資金

電話対応・・・3件

面談回数・・・1回

申込み0件

④その他

ア 福島区民まつりへの参加 ※台風のため開催中止

イ 大阪市社会福祉大会への参加

開催日：平成29年10月23日(月)

3. 公益事業・介護保険事業・指定管理運営事業

(1)地域包括支援センター運営事業

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、介護予防対策や状態に応じた介護・医療のサービスが切れ目なく提供できることを目指し、地域高齢者の心身の健康の維持・生活の安定のために必要な援助、支援を包括的に提供する。また高齢者虐待の防止および対応や判断能力を欠く状況にある人への支援を行う。

①総合相談支援

様々な相談に的確に対応できるよう、福祉・保健・医療等関係機関と連携し、本人・家族・近隣住民・地域等からの相談に対応。また、下福島・野田在宅サービスステーションに総合相談窓口を委託し、各地域の相談に対応。

相談機関	延べ相談件数
地域包括支援センター	3,798件
在宅サービスステーション(下福島・野田)	2,235件

②権利擁護・高齢者虐待予防への取り組み

ア 総合相談の対応の中で、権利擁護の観点から、保健福祉センターや各種関係機関と連携をとりながら、成年後見制度活用の支援

成年後見制度に関する相談 延べ93件

イ 認知症や虐待の疑いのある要支援者に対して関係機関と協力して対応

高齢者虐待に関する相談 延べ56件

ウ 関係機関との調整会議、地域住民に対して、虐待予防・消費者被害等の勉強会を開催

勉強会・会議の開催 延べ31回

③予防給付に関するマネジメント

要支援1・2の要支援認定者や家族の希望、生活機能等の把握、課題の分析を行い、介護予防サービス計画を作成し地域での生活を支援。

平成29年12月現在 福島区の介護度別認定者数

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
認定者 数(人)	685	605	478	509	330	356	249
備考	認定総数 3,061人 内、要支援1.2ケアプラン作成 月平均768件						

④包括的・継続的ケアマネジメント支援

ア 地域ケア会議

地域支援に関わる関係機関が支援の必要な高齢者を対象に、その人らしく地域で生活していけるよう効果的なサービスの総合調整を行い、地域支援システムとの連携を図った。(19回開催)

イ 総合相談窓口連絡会議

地域の相談窓口である阪神長楽苑(下福島地域)、福島ともしび苑(野田地域)と定期的に連絡会を開催し、地域の相談状況や介護予防啓発等の情報交換を実施。(6回開催)

ウ 地域における居宅介護支援事業所の後方支援

○福島区内で業務を行う、ケアマネジャーの支援のため、相互の情報交換、研修会等を開催(11回開催)

○日常的に処遇困難な事例に関するケアマネジャーへの個別支援
延べ492件

⑤関係機関のネットワークの形成

ア 区内、近隣区の事業所の相互の情報交換・資質の向上と、住民にとってよりよいサービスをめざし、各種連絡会を開催。

- 福島区ホームヘルパー連絡会 (6回開催)
- 通所事業者連絡会 (6回開催)
- 医療機関相談員等連絡会 (4回開催)
- 訪問看護事業所連絡会 (4回開催)
- 介護ホーム連絡会 (4回開催)

イ 認知症理解も含めた医療と介護と地域との連携

認知症に対する理解を深めるとともに、地域での関係機関の連携強化をめざして、シンポジウム、勉強会を実施

18回開催 (在宅医療を考える会での開催含む)

ウ 3師会、介護事業所等と連携し「福島区在宅医療を考える会」を開催。

エ 在宅医療を考える会 世話人会 (8回開催)

オ 在宅医療を考える会

開催日	内 容	参加人数(人)
6月21日	勉強会「あいあいオレンジチーム報告会～認知症初期集中支援の現状～」 オレンジチームの主な業務の流れと事例紹介。	62
7月19日	勉強会「医療保険と介護保険の利用者負担の仕組みについて」 ・医療と介護の立場から利用できる医療保険と介護保険の仕組みと負担軽減について解説	64
9月20日	在宅・救急医療講習会「医療・介護支援者とともに救命率向上に向けて」講師 福島消防署 救急隊 高齢者救急と予防救急の現状学習と医療介護従事者との意見交換	69
11月16日	事例検討会「認知症独居の高齢者 ～在宅の限界～」 モデルケースを用いて、グループワークと意見交換。	59

1月17日	区民講座 「認知症診療の現在と未来」 大阪市立弘済院附属病院 金田 大太先生	200
-------	---	-----

カ 健康展の開催

健康展準備委員会(5回)

健康展 ～世代を超えた健康づくり～

平成30年2月3日(土) 福島区民センター 大ホール 431人参加

⑥介護・保健福祉サービスの広報・啓発

地域包括支援センター、総合相談窓口の周知案内チラシ、相談窓口や介護事業所、医療機関をわかりやすくまとめた情報誌「かいご・福祉情報ガイド vol. 5」3,000部を作成。介護サービスの利用や相談のできる窓口を広報・啓発・周知した。

配布箇所:町会、病院、薬局、商店、銭湯、金融機関等 約500か所

⑦出張相談会の実施

ア 介護保険やその他の相談に関して、各地域コミュニティセンターや集会所などに出向き相談を受け付けた。(10地域月1回以上訪問)

イ 複合した相談等にも対応できるよう、ボランティア・市民活動センター、自立支援協議会とも連携し、区役所1階にて出張相談会を開催。

(毎月第4金曜日 年12回実施)

⑧認知症特化型地域包括支援センターの運営

認知症初期集中支援チームを置く認知症強化型地域包括支援センターとして、認知症高齢者を支援する区内ネットワークの充実を図り、大阪市が取り組む認知症にかかる地域包括ケアシステムの構築を推進し認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができることをめざす。

- ・認知症初期集中支援チーム員会議への参画 12回
- ・関係者会議の開催 3回
- ・代表者級会議の開催 1回

(2)家族介護支援事業 家族介護者のつどい(かいご泣き笑い会)

日常介護している家族が、勉強会や施設見学・交流会を行うことにより、介護について一人で悩まないことを目的とした事業を実施。

開催日	内容	参加人数(人)
5月18日	特別養護老人ホームや医療機関についての情報交換会	12
7月20日	新設特別養護老人ホームの概要と入所についての講話・クレネ大阪	15
9月21日	新設特別養護老人ホームの概要と入所についての講話・陽光ひめじま苑	13
11月16日	特別養護老人ホームの見学 ・クレネ大阪	9
1月18日	高齢者消費者講座(大阪弁護士会)	11
3月15日	勉強会・成年後見制度で見る高齢者の相談事例から	12

(3)認知症初期集中支援事業

平成28年度より、大阪市全区の地域包括支援センターに設置(各区1か所)。認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症診療・ケアの経験豊富な医師と、医療・介護福祉の専門職で構成する認知症初期集中支援チームを地域包括支援センターに設置し、ご本人やご家族、民生委員、介護関係職員などからの相談を受け、チーム員が家庭訪問を行う。

○チーム員の活動

適切な医療や介護サービス等に結びついていない事業実施区内に在宅の認知症または認知症の疑いのある方及びその家族を訪問し、アセスメントや受診勧奨、家族サポート等、ひとりひとりの状況に合わせ、支援の方向性を検討し、ご本人やご家族の自立した生活のサポートを、集中的に行う。

○地域支援推進員の活動

認知症の方を支援するネットワークの構築・推進のため、認知症カフェの運営推進、認知症サポーター養成講座への協力など、認知症になっても暮らしやすい町づくりのための活動を、様々な機関や団体と連携しながら行う。

- ・認知症初期集中チーム対応ケース(若年性認知症の相談含む) 37件
- ・認知症の方を支援するネットワーク構築・推進にかかる会議等への参画 22回
- ・事業の推進・広報啓発活動実績(案内チラシの配布等) 124か所
- ・関係者会議の開催 3回
- ・代表者級会議の開催 1回

(4)居宅介護支援事業

介護保険による要介護・要支援認定者の申請代行、契約に基づいてケアプランを作成し、サービス事業者との調整を図りながら支援を行なった。

平成29年度 居宅介護ケアプラン作成件数 (介護予防プラン含む)

月 別	作成件数(件)
4月	72
5月	75
6月	73
7月	74
8月	70
9月	68
10月	69

11月	66
12月	68
1月	71
2月	72
3月	76
合 計	854件

(5)あんしんさぽーと事業(日常生活自立支援事業)

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方への日常生活自立支援事業について、地域での利用待機の解消および今後の利用希望追加のニーズにこたえるため、区社協において相談から契約、福祉サービス等利用援助および日常金銭管理・書類等預かりサービスの提供を行なった。なお、福祉サービス等利用援助、日常金銭管理サービス等の提供にあたっては、一体的に実施した。

①相談及び対応件数 3,523件

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	そ の 他
1,751件	764件	803件	205件

②サービス利用者数(平成30年3月末現在) 44人

(6)介護予防事業

①介護予防教室事業(あいあい教室)

実 施 地 域	延べ参加人数	
	4～9月	10～3月
上福島 地域	32人	34人
福 島 地域	72人	64人
玉 川 地域	37人	70人
野 田 地域	87人	96人
吉 野 地域	56人	63人
新 家 地域	72人	85人

大開地域	41人	37人
鷺洲地域	49人	55人
海老江東地域	48人	58人
海老江西地域	102人	83人
合計	596人	645人

②介護予防運動クラブ(区社協独自事業)モデル実施

昨年度まで実施してきた複合型介護予防教室事業の設備や講師のノウハウを活用し、区社協独自の介護予防運動事業をモデル実施した。

実施期間：平成29年11月～平成30年2月の月・水・金曜日

実施回数：各曜日とも10回

対象者：区内在住の概ね60歳以上の方

定員：6名(先着順)

参加費：3,000円(全10回分)

【参加人数一覧】

	月曜コース	水曜コース	金曜コース	計
ベーシックコース (9:30-10:45)	4人 (延べ36人)	5人 (延べ38人)	7人 (延べ61人)	16人 (延べ135人)
ステップアップコース (11:00-12:45)	6人 (延べ46人)	6人 (延べ56人)	5人 (延べ45人)	17人 (延べ147人)
計	10人 (延べ82人)	11人 (延べ94人)	12人 (延べ106人)	33人 (延べ282人)

介護予防運動の継続的な取り組みの重要性と参加者の継続実施の要望から、フォローアップ教室を実施した。

実施期間：平成30年2月～4月の月・水・金曜日

実施回数：各曜日とも10回

対象者：区内在住の概ね60歳以上の方【定員6名(先着順)】

参加費：3,000円(全10回分)

【フォローアップ教室の参加人数一覧】

	月曜コース	水曜コース	金曜コース	計
前半コース (9:30-10:45)	2人 (延べ13人)	4人 (延べ39人)	4人 (延べ20人)	10人 (延べ72人)
後半コース (11:00-12:45)	5人 (延べ47人)	4人 (延べ39人)	3人 (延べ25人)	12人 (延べ111人)
計	10人 (延べ60人)	11人 (延べ78人)	12人 (延べ45人)	22人 (延べ183人)

③あいあい健康体操教室(区社協独自事業)

健康運動指導士による、椅子に座って行う簡単なストレッチ体操やトレーニングを通して、筋力の維持・向上を図る健康体操教室を実施した。

実施日時 : 金曜日(第一部13:30- 第二部14:45-)

実施回数 : 45回

参加人数 : 延べ582名

参加費 : 2,500円(5回分)

(7) デイサービスセンター事業

①月別利用者数

	月末契約人員(人)	利用人員(人)
H29年 4月	35	272
5月	35	257
6月	38	290
7月	37	269
8月	41	314
9月	42	333

10月	41	330
11月	42	300
12月	42	302
H30年 1月	41	275
2月	41	251
3月	39	258
合計	434人	3,451人

②年間利用者数

契約 実人員	42 人
実施日数	244 日／年間
平均利用者数	14.1 人／日

③デイサービスセンター運営推進会議の開催

第1回:平成29年9月(書面による活動状況等の報告、評価等)

第2回:平成30年3月14日(水)午後1時30分～2時30分 あいあいセンター

(出席者)利用者本人2名、利用者の家族1名、地域関係者1名(海老江西地区民生委員長)、地域包括支援センター1名、スタッフ3名

(8)介護保険要介護認定・障がい程度区分認定調査事業(受託外関連事業)

介護保険制度にかかる要介護認定調査、自立支援法に基づき程度区分認定調査において介護保険サービスに円滑に繋がるように調査業務をおこない、大阪市社会福祉協議会との連絡調整を行なった。

(9) 子ども・子育てプラザ事業

①子育て活動支援事業

ア 子育て情報の収集・管理・提供

○講座等の情報を広報紙とホームページにより広く提供

○区保健福祉センターで実施される赤ちゃん広場等に出向き、情報提供

イ 地域の自主的な子育て活動への支援

○地域の子育てサークルへの活動場所の提供、遊具等の貸し出しを実施

ウ 子育て中の親子の支援

子育て中の親子が参加しやすいよう、様々な子育て支援講座を実施。

内 容	開催回数	参加人数	内こども(人)
ベビーマッサージ	12回	283人	143人
ウキウキ身体測定	12回	1,077人	556人
英語を楽しもう	12回	896人	464人
親子リトミック	6回	423人	218人
似顔絵を描いてもらおう	5回	79人	39人
親子でダンス♪ダンス	5回	295人	154人
こいのぼりを作ろう!	1回	83人	43人
七夕かざりを作ろう	1回	92人	48人
金魚・スーパーボール遊び	1回	131人	67人
おひな様を作ろう	1回	99人	52人
歯のおはなし	1回	77人	40人
防災のおはなし	1回	56人	28人
すくすく離乳食作り	2回	9人	(一時保育8)
親子クッキング	1回	12人	6人
プレママ・プレパパ講座	1回	2人	0人
パパのための読み聞かせ講座	1回	27人	12人
教育にかかるお金の話	1回	36人	17人
音楽コンサート	2回	145人	65人

ヒップホップダンス(4歳以上対象)	1回	8人	5人
クリスマス会	1回	180人	91人
プラザまつり	1回	225人	122人
子どものほめ方・叱り方	1回	6人	(一時保育5)
ママのメンタルヘルス	1回	17人	(一時保育15)

エ 児童の健全育成

児童が楽しく参加できるよう、様々な行事を実施。

またつどいの広場の乳幼児に絵本の読み聞かせを行うなどの『こどもボランティア活動』も行った。

29年度より、7月21日から8月31日の夏休み期間中は月曜日と祝日も開設。プラザから遠い地域の児童対象の講座を区民センターにて実施した。

開設日：火曜～日曜(祝日・年末年始等を除く)

7月21日から8月31日の間の月曜・祝日

開設時間：火曜～金曜 …放課後～午後5時

土・日曜、春・夏・冬休み

…午前9時30分～12時、午後1時～午後5時

開設日数：305日／年間

利用人数：5,476人／年間

内 容	開催回数	参加人数
卓球の日	25回	206人
大なわとびの日	11回	60人
ドッジボール大会	1回	17人
デザートづくり	2回	30人
プラバン作り	3回	50人
レインボールーム	1回	20人
指あみでシュシュをつくろう	1回	5人

スーパーボールすくい	1回	16人
クリスマス会	1回	32人
進級お楽しみ会	1回	13人
《こどもボランティア活動》		
おはなしの時間	23回	527人
牛乳パックで魚を作ろう	1回	13人
プチプチで金魚を作ろう	2回	14人
サンタクロースに色をぬろう	1回	4人
一緒に遊ぼう	1回	2人
《アウトリーチ：区民センターで開催》		
自由研究のネタをさがそう	1回	20人
春休みに工作をたのしもう	1回	7人

オ 地域関連事業

併設の老人福祉センターと共催で節分工作を実施。今年度は、老人福祉センターで開催する盆踊りに乳幼児の親子が参加し、交流した。また、囲碁将棋教室と共催で将棋大会と囲碁大会を開催。

内 容	参加人数
将棋大会	26人
囲碁大会	14人
きらめきセンターの盆踊りに参加しよう	18人
節分工作と豆まき	92人

②ファミリー・サポート・センター事業

大阪市ファミリー・サポート・センター事業の支部業務を実施

平成30年3月31日現在の会員数

依頼会員 131人

提供会員 48人

両方会員 8人

平成29年度 活動件数 : 579件

③地域子育て支援拠点事業(つどい広場事業)

ア 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

0歳～就学前の乳幼児とその保護者が、自由に交流できる場所を提供

開設日 : 火曜～土曜(祝日・年末年始等を除く)

開設時間 : 午前9時30分～午後2時

開設日数 : 248日/年間

利用人数 : 17,604人(うち乳幼児9,135人)/年間

内 容	開催回数	参加人数	内乳幼児
手形のお誕生日カード	12回	307人	149人
お誕生日会	12回	460人	236人
ちっち☆ひまわり	4回	230人	118人
ブックスタート	12回	247人	115人

イ 子育て等に関する相談、援助の実施

利用者が相談しやすい関係作りに努め、内容に応じて情報を提供したり、関係機関との連携により利用者の不安が軽減するよう援助。

ウ 地域の子育ての関連情報の提供

保育所・幼稚園・子育てサロン等の情報交換を行い、館内に情報を掲示し、子育て情報誌「フッピィキッズ」への情報掲載。

エ ブックスタートの実施

福島区図書館とのボランティアによるブックスタート事業を実施。

④福島区において実施する独自事業

ア 子育て情報誌の編集委員会の開催。

子育て情報誌「フッピィキッズ」の編集委員会の開催(3回発行)。

子育てに関する情報提供、「おでかけカレンダー」の発行(年12回)。

イ 子育て支援連絡会における事務局

事務局として子育て支援連絡会を運営し開催(2回)。

子育て支援関係機関の情報交換等。

ウ アウトリーチの実施

プラザ以外の場所で子育て支援講座を実施。

内 容	開催場所	開催回数	参加人数
出前講座	地域の子育てサロン	23回	575人
出張ひろば	ウイステ	3回	312人
しゃぼん玉	福島公園	1回	110人

(10) 老人福祉センター事業

平成30年度を最終年度とする5か年の指定管理の4年度目として、平成29年度も引き続き高齢者一人ひとりが抱える課題や悩みの相談窓口として、あいあいセンターとの連携をはじめ、適切な相談機関につなげることを意識して、諸事業に取り組んだ。また、「福島区高齢者の生きがいと健康づくり推進事業」を実施し、一般介護予防を目的とした百歳体操をはじめとする健康づくり事業の拡充を図った。

[事業報告]

①健康づくりと介護予防の促進事業

一般介護予防を目的とする健康づくり事業の拡充として、健康づくりの4講座を年間39回実施するとともに、講話に体操を交えた健康いきいき教室を年間10回開催。前年度2回実施して好評を得た音楽療法を、今年度は9回実施し要望に応えた。

また、気軽に参加できる健康づくりとして、百歳体操を毎週2回、年間96回実施し2,810人が参加するなど、年々高まる高齢者の健康づくりに対する

要望につなぎ目なく応えた。

ア 健康づくり講座

事業名	開催回数	参加人数	備考
ヨガ	9回	223人	5～11月講師都合により計9回
健康体操	10回	274人	5～11月 計10回
座ってビクス	10回	304人	5～11月 計10回
ボールDE体操	10回	148人	5～11月 計10回
合計	39回	949人	

イ 健康・体力づくり行事

事業名	開催回数	参加人数	備考
健康いきいき教室	10回	324人	8月の夏季5回、2月の冬季5回
卓球ひろば	36回	841人	毎月曜※子・子プラザ使用时休み
百歳体操	96回	2,810人	毎週火曜、木曜
合計	142回	3,975人	

②生きがいづくり事業

高齢者の生きがいづくり、健康づくり、社会参加などを支援するために各種講座やイベントを開催するとともに、同好会活動の立ち上げ・日程調整・広報等を支援した。

ア 生きがい探究の機会の提供

健康や情報をテーマに企業2社とタイアップした講座・教室を開催。また、歴史・文化施設見学、地元中央卸売市場の買物・見学や、一人で楽しめる数独の提供、思い出の写真を展示する常設の写真展等を引き

続き実施した。

事業名	開催回数	参加人数	備考
七夕まつり	1回	206人	7/3～7/7
風鈴まつり	1回	15人	7/4～9/28
大阪暮らしの今昔館見学	1回	12人	7/19
「油断大敵！食中毒」	1回	27人	8/25 近畿中央ヤクルト
きらめき教養講座 倉敷バスツアー	1回	44人	10/18 倉敷美観地区、大原美術館
爆笑寸劇「森田家の相続」	1回	27人	11/1 大阪市西地域士業会
卓球ひろば出前講座	1回	10人	11/6 日本卓球株式会社
音楽鑑賞会 「きらめきコンサート」	1回	38人	12/6 ウィークデイアンサンブル
中央卸売市場見学	1回	19人	12/13
音楽療法	9回	738人	5月～3月
「ipadを使つての脳トレ体験教室」	1回	17人	2/23脳若サロン和んすもあ
ダイヤモンドエイジ写真展	常設	55人	常設展示
合計	19回	1,208人	

イ サークル活動支援

事業名	開催回数	参加人数	備考
俳句同好会	12回	120人	第2土曜
茶道同好会(1部・2部)	29回	88人	第1木曜、第3火曜、 第2・4火曜

民謡同好会	42回	419人	第1・3月曜、第2・4木曜
民踊同好会	60回	728人	第1～4月曜、第1・3木曜
カラオケ同好会(1部・2部)	67回	845人	第1～4水曜、 第4月曜、火曜
卓球同好会(1部・2部)	103回	1,148人	第1～4月・火曜・金曜、 第1土曜
映画同好会	22回	192人	第1・3金曜
銭太鼓同好会	22回	198人	第1・4土曜
フラダンス同好会	45回	224人	第1・3木曜
絵画同好会	24回	247人	第2・4木曜
詩吟同好会	25回	246人	第2・3土曜
区老連コーラス同好会	32回	1,273人	火曜(月2,3回)
書道同好会	13回	170人	第2月曜
生花同好会	9回	73人	第4水曜(8月休み)
区老連ディスコン同好会	29回	522人	毎月曜※子・子プラザ使用 時休み
シニア元気クラブ (健康体操同好会)	30回	779人	第1・3金曜 (2回以上の月有り)
折り紙同好会	24回	417人	第2水曜、第3土曜
書道細字同好会	14回	259人	第4月曜
大正琴同好会	22回	130人	第1・3月曜
ティーセレモニー	11回	30人	第3木曜
初級囲碁教室	44回	295人	毎月曜
ゲーム1・2同好会	55回	751人	第1～4木曜、第2・第4金曜
ネット囲碁同好会	89回	524人	毎水・土曜
笑いヨガ同好会	16回	241人	第2・4木曜(8・12月休み)

新舞踊同好会	27回	217人	第1・2・4火曜
シニアフィットネス (いきいき体操同好会)	8回	227人	水曜 月1, 2回
合 計	852回	10,363人	

③相談・情報機能の充実

ア 身近な相談体制づくり

高齢者の身近な相談窓口として、「あいあいセンター」をはじめ、関係機関につなげる機能の充実に努めた。当年度は特に、利用者との情報交換のなかで、相談事項の拾い上げを行い、高齢者に係る問題をテーマにした講座も開催した。

イ 公的情報ならびに健康および生活関連の情報提供

福島区役所、警察署、消防署の公的機関の情報を高齢者に適時、適確に伝えることを目的に当該年度も引き続き、区長と高齢者の対話集会「きらめきミーティング」の開催をはじめ、防犯・交通安全、防災・防火等の啓発を図る情報提供を行った。

④利用者の自律したセンター運営の推進

同好会の代表者による「利用者代表者会」を設けて、利用者自らが文化祭や七夕まつり等の行事に参画し、企画立案ならびに実行まで、利用者が自律的にセンター運営に関われるように努めた。

⑤老人クラブ活動の支援

単位老人クラブの連合組織である区老人クラブ連合会の業務及び同会が実施する行事を支援した。

⑥世代間交流事業

区内の保育所・学校園の子どもと高齢者がふれあう行事、イベントを実施。

事業名	開催回数	参加人数	備考
お誕生日会（海老江保育所）	4回	358人	6/21、9/20 12/20、3/14
盆踊り大会 （海老江保育所・子ども・子育てプラザ）	1回	84人	8/9
きらめき文化祭（海老江保育所）	1回	523人	11/13～11/16
節分お面づくり（子ども・子育てプラザ）	1回	95人	1/26
合計	7回	1,060人	

⑦合同事業

事業名	開催回数	参加人数	備考
介護ポイント事業登録研修	1回	17人	6/30市社協地域福祉課
出前講座 身近な応急手当	1回	19人	2/28福島消防署
介護ポイント事業登録施設見学会	1回	15人	11/2市社協地域福祉課
第6回きらめきミーティング	1回	46人	3/8福島区役所
合計	4回	97人	

⑧その他

ア 囲碁将棋大会（同好会主催定例会）

囲碁：12回 計280人

将棋：12回 計347人

イ カラオケ発表会（カラオケ同好会主催）2回 計130人

[実績報告]

①サービス向上策

施設運営委員会を通じて地域の意見、要望を広く求めるとともに、同好会等の利用者代表者会議を適宜開催し、利用者の意見をセンター運営に反映させてサービス向上に努めた。

②利用促進策

センター行事等の情報を提供する「センターだより」の内容の充実に努めたのはじめ、市・区社協のホームページ及び区の「広報ふくしま」、区社協の「あいあいだより」を活用した広報活動の充実に努めた。また利用者個々のニーズ把握に努め、行事等の立案、運営に反映する事により、利用率向上に努めた。

③利用者の満足度の把握について

代表者会議を通じて意見を直接収集するとともに、アンケートの適宜実施によってニーズの把握に努めた。

④平等利用の確保について

「施設運営委員会」を開催し、意見・助言を聴取して平等・公正な運営に努めた。

⑤他施設との連携、地域との連携、市民・NPOとの協働等

併設の海老江保育所、子ども・子育てプラザをはじめ、福島区食生活改善推進員協議会、福島区健康推進協議会と連携したお誕生日会、を定期的に行なった。

⑥建物の維持管理の取組みについて

これまでから要望が強かった広間・廊下カーペット改修工事を行った。また日常の清掃時の点検を基本に定期的に館内巡視を実施し、引き続き軽微なものについては職員が修繕を行った。

⑦危機管理について(事故防止等安全対策、火災時緊急時の対応)

当センターは、区役所との協定によって災害時に福祉避難所として供用するため、当該年度は市危機管理室の指導で、南海トラフ地震の発生を想定した災害時対応の研修に参加。11月26日にはあいあいセンターと連携した福祉避難所開設の実地訓練を行なった。

⑧個人情報の保護・情報公開について

「大阪市個人情報保護条例」、「大阪市情報公開条例」をはじめ、当協議会の「個人情報保護規定」により、情報の漏洩や利用証の管理を的確に行い、引き続き個人の権利・利益の侵害防止に努めた。

⑨過去4ヵ年度の利用者数の推移

(人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
年間利用者 (延べ人数)	30,709	32,055	31,382	31,311
月平均(延べ人数)	2,559	2,671	2,615	2,609
一日平均(延べ人数)	104.8	109.4	107.5	106.8